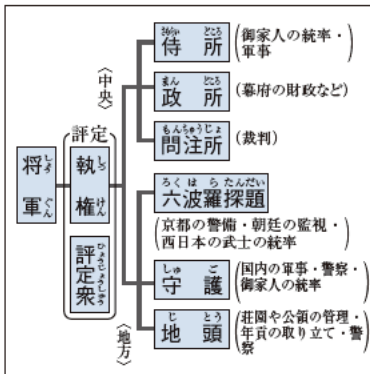




みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした。みながそれに報いたいという志はきつと浅くないはず。名誉を大事にする者は、ただちに逆臣をうち取り、幕府を守りなさい。

- 一 諸国の守護の職務は、頼朝公の時代に定められたように、京都の御所の警備と、謀反や殺人などの犯罪人の取りしめりに限る。
- 一 武士が20年の間、実際に土地を支配しているならば、その権利を認める。
- 一 女性が養子をとることは、律令では許されていないが、頼朝公のとき以来現在に至るまで、子どものない女性が土地を養子にゆずりあたえる事例は、武士の慣習として数え切れない。

▲A鎌倉幕府のしくみ

▲B北条政子の訴え

(吾妻鏡)

1 武士の成長 (図表のワーク①～④) 教科書 P.66・67

- 武士の登場…地方の豪族や都の武官の中から武士がおこった。地方の武士は多くの家来を従えて武士団を形成。10世紀中ごろ、平将門が北関東で、藤原純友が瀬戸内地方で、周辺の武士団を率いて反乱をおこした。
- 武士の成長…武士団のうち、源氏と平氏が有力に。源義家は東北地方の戦乱をしずめ、源氏が東日本に勢力拡大。奥州藤原氏が平泉(岩手県)を拠点に東北地方に勢力。平氏は西日本に勢力拡大。地方の武士らが開発した荘園は皇族・貴族・寺社が領主となり、武士らは農民から年貢を取り立てる。公領でも武士が年貢の取り立て。

2 院政から武士の政権へ (図表のワーク⑤～⑩) 教科書 P.68・69

- 院政と武士…藤原氏と関係のうすい後三条天皇が即位→白河天皇が上皇となって院政を開始→鳥羽上皇が上皇となった後、摂政・関白の力をおさえて政治を厚く保護→保元の乱がおこる→平治の乱で平清盛が源義朝を破る。
- 源平の争乱…平清盛は太政大臣となり、兵庫(神戸市)の港を整備して日宋貿易→清盛が後白河上皇の院政を停止→源頼朝や源義仲などが平氏に対して挙兵→頼朝は源義経を送り平氏を壇ノ浦で滅ぼす。

3 鎌倉幕府の成立と執権政治 (図表のワーク⑪～⑱) 教科書 P.70・71

- 鎌倉幕府…頼朝は国ごとに守護、荘園・公領ごとに地頭を置く→源義経と奥州藤原氏を攻め滅ぼす→征夷大将軍に任じられる→鎌倉幕府の成立(これ以後を鎌倉時代という)。将軍と御家人とは、御恩と奉公による主従関係。
- 執権政治…頼朝の死後、北条時政が実権をにぎり、北条氏が執権を代々独占(執権政治)→第3代将軍源実朝の暗殺→後鳥羽上皇が挙兵(承久の乱)→幕府はこれをしずめ、京都に六波羅探題を置く→北条泰時が政治の判断の基準となる御成敗式目(貞永式目)を制定。

4 武士と民衆の生活 (図表のワーク⑳～㉔) 教科書 P.72・73

- 地頭の支配…地頭に任じられた武士は簡素な屋敷に住み、武芸の訓練を行い「弓馬の道」「武士の道」を追究。領地は女子にも分割相続。幕府は地頭と領主の争いを下地中分で解決。
- 農業と商業…牛馬が農作業に利用され、草木の灰が肥料とされ、二毛作が行われた。寺社の門前や交通の要地で定期市が開かれた。

5 鎌倉時代の文化と宗教 (図表のワーク㉕～㉙) 教科書 P.74・75

- 鎌倉文化…武士の好みを反映した写実的で力強い文化。
 - 東大寺南大門が再建され、運慶らの金剛力士像が収められる。
 - 「新古今和歌集」(藤原定家、西行など)や「方丈記」(鴨長明)。「平家物語」(琵琶法師が語る)。「徒然草」(兼好法師)。写実的な絵。

宗派	開祖	特色
念仏 ねんぶつ を唱 とな える	浄土宗 じょうどしゅう 法然 ほうねん 浄土真宗 じょうどしんしゅう 親鸞 しんらん 時宗 じしゅう 一遍 いっぺん	浄土信仰 じんとしやう の教 しやう えを徹 てつ 底 てい 阿弥陀如来 あみだによらい を信 しん じる心 こころ 踊念仏 おどねんぶつ 、念仏 ねんぶつ の札 ふだ
日蓮宗 にちれんしゅう (法華宗)	日蓮 にちにん	法華經 ほけきやう の題目 だいもく を唱 とな える
禅宗 ぜんしゅう	臨済宗 りんざいしゅう 栄西 えいさい 曹洞宗 そうどうしゅう 道元 どうげん	座禅 ざぜん により自 みづか 分の力 ちから で さとりを開 ひら く

▲D鎌倉時代の新しい仏教

- 鎌倉仏教…わかりやすく、実行しやすい教えが広まった。

☑ 図表のワーク

世紀	武士の登場と成長		
10	地方の豪族や都の武官の中から、武士がおこる→武士団を形成		
	北関東で① 瀬戸内で②	が反乱→武士の台頭→ 東日本の③ 西日本の④	が有力な武士団
11	⑤…白河上皇や鳥羽上皇が摂政や関白をおさえて行った政治。	⑥	が上皇のもとに集まる
12	平元の乱と⑦の乱→⑦で源義朝を破った⑧が勢力を広げた 平氏の政権…⑧は武士として初めて太政大臣に任じられた→⑨(神戸市)の港を整備し、 中国の宋との貿易で利益を上げた 源平の争乱…平氏に対する反感が高まり、諸国の武士たちが挙兵 →平氏は⑩によって、壇ノ浦で滅ぼされた 鎌倉幕府の成立		武士の生活 ・⑬と領主の間に争い→幕府は土地の半分を⑬にあたる下地中分で解決 ・武士は「⑭の道」や「武士の道」を重視
	・⑩の兄の⑪は、国ごとに⑫を、荘園や公領ごとに⑬を置いた ・⑪は、⑩と⑭を拠点としていた奥州藤原氏を滅ぼした ・⑪は役所を整備→征夷大將軍に任じられた →將軍と御家人の間に⑮と奉公の主従関係		民衆の動き ・農作業に牛や馬を利用 ・草木を焼いた灰を肥料に使用
	⑪の死後、北条時政が実権をにぎった →⑯の地位を独占した北条氏が勢力を拡大		・西日本を中心に、秋に米を収穫した後に冬に麦をつくる⑰が始まった
	・⑱の乱…後鳥羽上皇が挙兵→幕府軍の勝利 →幕府は京都に⑲を設置		・寺社の門前や交通の要地で⑳が開かれるようになった
	執権政治の確立…北条泰時は政治の判断の基準となる ⑳を制定		
13			

▼鎌倉文化

文学	「23」…藤原定家・西行など 「24」…琵琶法師によって語り伝えられた 「25」…兼好法師の随筆
建築	東大寺南大門の再建…宋の様式を取り入れた
彫刻	「26」… ^{うんけい} 運慶らが制作
絵画	肖像画…似絵

▼鎌倉仏教

宗派		開祖
念仏を唱える	②⑦ 宗	法然
	浄土真宗	②⑧
	時宗	②⑨
③⑩ 宗		日蓮
禪宗	③① 宗	栄西
	曹洞宗	③②

確認問題

→類題演習 P.76

① 武士の成長 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 地方の武士は、多くの家来を従えて□□を形成していった。()
- (2) 10世紀中ごろ、北関東では□①□が、瀬戸内地方では□②□が反乱をおこした。
①() ②()
- (3) 11世紀後半、東北地方で大きな戦乱がおこったが、源氏の□□がこれをしずめた。()
- (4) 東北地方では、平泉(岩手県)を拠点として□□氏が勢力を強めた。()

② 院政から武士の政権へ 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 1086年、白河天皇は位をゆずって上皇になり、□□を始めた。()
- (2) 12世紀半ば、京都で□①□がおこり、この内乱で源義朝を破った□②□が勢力を広げた。
①() ②()
- (3) (2)②は中国の宋との貿易を進めるため、□□の港を整備した。()
- (4) 平氏に対抗して兵を挙げた源頼朝は、弟の□□を送って平氏を攻めさせた。()

③ 鎌倉幕府の成立と執権政治 次の問いに答えなさい。

- (1) 国ごとの軍事・警察を担当する役人を何というか。()
- (2) 荘園や公領の管理や年貢の取り立てを行う役人を何というか。()
- (3) 本格的な武士の政権を築き、1192年に征夷大將軍に任じられた人物はだれか。()
- (4) 將軍が、御家人が以前から所有していた領地を保護したり、新しい領地をあたえたりしたことを何というか。()
- (5) 將軍の力を弱めて幕府の実権をにぎった北条氏が独占した地位は何か。()
- (6) 1221年に後鳥羽上皇が挙兵して、幕府軍に敗れたできごとを何というか。()
- (7) (6)の後、朝廷を監視するため、幕府が京都に設置した役所を何というか。()
- (8) 1232年、北条泰時は政治の判断の基準を何という法令に定めたか。()

④ 武士と民衆の生活 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 地頭と領主との間にしばしば争いがおこった結果、土地の半分を地頭にあたえる□□という裁定が下されることもあった。()
- (2) 秋に米を収穫した後冬に麦をつくる□□が行われるようになった。()
- (3) 寺社の門前や交通の要地では、□□が開かれるようになった。()

⑤ 鎌倉時代の文化と宗教 次の問いに答えなさい。

- (1) 後鳥羽上皇の命令で編集され、藤原定家や西行らの歌を収めた和歌集を何というか。()
- (2) 東大寺南大門に収められている金剛力士像を制作したのはだれか。()
- (3) 琵琶法師によって語り伝えられた、武士の活躍を描いた文学を何というか。()
- (4) 一心に念仏を唱えることを説き、浄土宗を開いた僧はだれか。()
- (5) 法華經の題目を唱えれば人も国家も救われると説いた僧はだれか。()
- (6) 栄西や道元が伝えた、座禅により自力でさとりを開こうとする宗派を何というか。()

練習問題

1 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 年表中の□①～③にあてはまる役職名をそれぞれ答えなさい。

□(2) 年表中のAの□にあてはまる政治の名称を答えなさい。

□(3) Aと同じころから平泉(岩手県)を拠点として栄えた武士団は何氏か。

□(4) 年表中のBの3年前におこり、平清盛と源義朝が勝利した戦乱を何というか。

□(5) 年表中のCについて、平清盛は中国の何という国との貿易を進めたか。次から選びなさい。

[唐 魏 宋 隋]

□(6) 年表中のDについて、壇ノ浦で平氏を滅ぼした人物はだれか。

□(7) 年表中のDと同じ年に、源頼朝が国ごとに置き、軍事や警察にあたらせた役職を何というか。

□(8) 年表中のEについて、源頼朝に忠誠を誓った武士を何とよんだか。

□(9) 年表中のFののち、幕府が京都に設置して、朝廷の監視や西日本の武士の統率にあたらせた役所を何というか。

□(10) 年表中のGを制定した人物を、次から選び、記号で答えなさい。

ア 北条政子 イ 北条時政 ウ 北条泰時

年代	で き ご と
939	平将門が反乱をおこす
1086	白河上皇の□が始まる … A
1159	平治の乱がおこる …………… B
1167	平清盛が□①になる …………… C
1185	平氏が滅びる …………… D
1192	源頼朝が□②になる …………… E ↓北条氏が□③の地位に就く
1221	承久の乱がおこる …………… F
1232	御成敗式目が制定される …… G

1 学習の ①～③

(1) ①

②

③

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

2 学習の ④・⑤

(1)

(2)

(3) ①

②

(4)

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代になると、武士は領地に屋敷を構え、農民を使って①農業を営んだ。
②荘園や公領に置かれた幕府の役人が土地や農民を勝手に支配するようになると、領主との間に争いがおこるようになった。

文化の面では、それまでの③繊細で優美な貴族の文化とともに、素朴で力強い文化もおこり、武士の活躍を描いた文学もつくられるようになった。また、成長した民衆や武士の心のよりどころとして、④新しい仏教が広まった。

□(1) 下線部①について、鎌倉時代に、西日本を中心に行われるようになった、秋に米を収穫した後冬に麦をつくる農業を何というか。

□(2) 下線部②の役人を何というか。

(3) 下線部③について、次の書物の名をそれぞれ答えなさい。

□① 後鳥羽上皇の命令で編集され、西行などの和歌を収めた和歌集

□② 琵琶法師により語り伝えられた、武士の活躍を描いた文学

□(4) 下線部④について、禅宗を広めた僧を次から選び、記号で答えなさい。

ア 日蓮 イ 道元 ウ 親鸞 エ 法然

Key プラス

1 歴史上の人物が語っているように書いた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 朝廷の政治に不満を感じた私は、瀬戸内地方で周辺の武士団を率いて反乱をおこしました。

B 私は天皇の位をゆずった後、初めて上皇として政治を行い、摂政や関白の力をおさえました。

C 私は武士として初めて太政大臣の地位につき、娘を天皇のきさきとするなどして権力を強めました。

D 私は鎌倉を本拠地として武士をまとめ、源義経を送って平氏を攻め滅ぼさせました。

- (1) A～Dにあてはまる人物名を、それぞれ答えなさい。
- (2) Bのころから現れた、寺社がかかえていた武装した僧を何というか。
- (3) Cの人物が中国との貿易を行うために整備した港を、次から選び、記号で答えなさい。
- ア 壇ノ浦 イ 堺 ウ 酒田 エ 兵庫(神戸)
- (4) Dの人物の配下の武士は、幕府などを警備し、Dのために生命をかけて戦った。このような行いを何というか。

2 右の史料を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) 史料Ⅰは、ある荘園における農民の訴状の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

- ① 下線部③・④の間に土地をめぐる争いがあること、幕府は下地中分という裁きを下すことがあった。下地中分とは何か、「半分」の語句を使って、簡単に説明しなさい。

- ② 鎌倉時代に農村で行われるようになった、農作業の新しい試みを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 青銅器を農具として使った。
- イ 石包丁を稲穂のかり取りに使った。
- ウ 草木の灰を肥料として使った。
- エ 高床倉庫に稲を収めるようになった。

- (2) 史料Ⅱの法令を何というか。
- (3) 史料Ⅱ中の□⑤にあてはまる、国ごとに置かれた役職名を答えなさい。
- (4) 1221年に幕府に対して後鳥羽上皇が挙兵したできごとを何というか。また、このできごととあとの、史料Ⅱ中の下線部⑥に置かれた役所を何というか。
- (5) 史料Ⅲの文学により描かれたものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア いきいきとした民衆の姿 イ 平氏などの武士の活躍
- ウ 地方の国ごとの自然・産物 エ 貴族の生活の様子

1 の答え

(1) A _____

B _____

C _____

D _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

2 の答え

(1) ① _____

② _____

(2) _____

(3) _____

(4) 挙兵 _____

役所 _____

(5) _____

Ⅰ 阿氏河荘の農民の訴状

一 領主に納める材木のことで、
③ 地頭が上京するとか、
あるいは近所の労役だとかいって、
このように人夫として地頭の所でこき使われるので、ひまがないのです。(部分要約)

Ⅱ

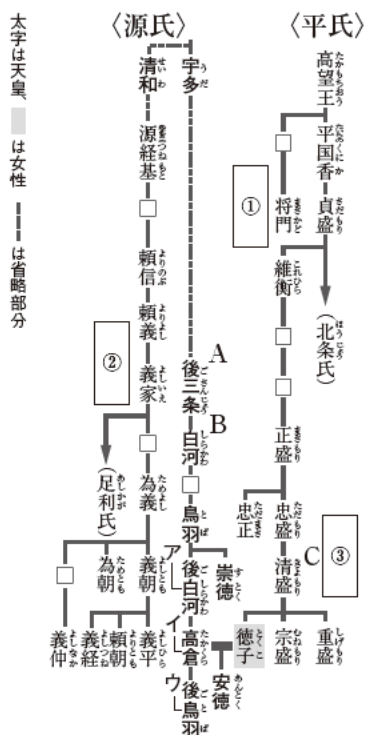
一 諸国の□⑤の職務は、頼朝公の時代に定められたように、
④ 京都の御所の警備と、謀反や殺人などの犯罪人の取りしまりに限る。(部分要約)

Ⅲ

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。
娑羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらわす。

ここで得点アップ!

1 左の源氏と平氏の系図を見て、問いに答えなさい。



みなもの者、よく聞きなさい。…
公が朝廷の敵を倒し、幕府
を開いてこのかた、官職といい、
土地といい、その恩は山より高く、
海より深いものでした。…名誉を
大事にする者は、ただちに、逆臣
をうち取り、幕府を守りなさい。

(吾妻鏡)

- (1) 系図中の①～③にあてはまる戦乱について説明したものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。 □①() □②() □③()
- ア 東北地方の武士どうしの争いをきっかけにおこった。
イ 朝廷の政治に不満を感じる武士団が北関東で反乱をおこした。
ウ 天智天皇のあとつぎをめぐる対立を原因としておこった。
エ 天皇と上皇の対立などを原因としておこった。

- (2) 系図中の②の戦乱の後から12世紀前半にかけて、源氏と平氏はどの地域に勢力を広げたか。簡単に説明しなさい。

□()

- (3) 系図中のA・Bの天皇や上皇について説明したものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。 □A() □B()

- ア 荘園の増加をおさえるなどの政治改革を行った。
イ 都を平安京に移した。
ウ 「新古今和歌集」の編集を命じた。
エ 上皇となった後、摂政や関白の力をおさえ、初めて院政を行った。

- (4) 系図中の③の戦乱の後、Cがさらに権力を強めた方法を、「娘」の語句を使って簡単に説明しなさい。

□()

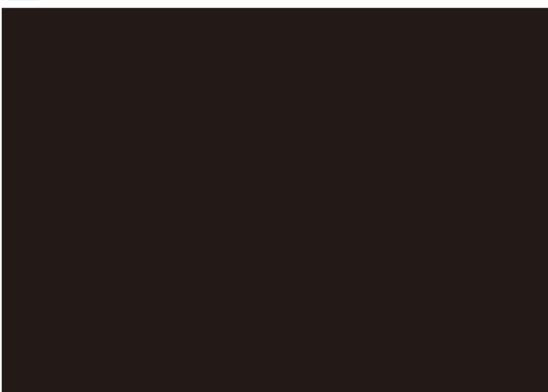
- (5) 左の史料は、ある戦乱に際して北条政子が行った演説の内容である。この戦乱を引き起こした人物を系図中のア～ウから選び、記号で答えなさい。

□()

- (6) 史料中の□にあてはまる人物名を、系図中から選んで答えなさい。

□()

2 左の資料を見て、問いに答えなさい。



- (1) 資料Iの→に描かれている、時宗を開き、諸国をめぐり歩いて信仰をすすめた僧はだれか。 □()

- (2) (1)の僧が重んじたものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア 「南無阿弥陀仏」という念仏 □()

イ 浄土信仰の教え ウ 座禅 エ 法華經の題目

- (3) 資料Iのころ、商業ではどのような動きが見られるようになったか。資料Iを参考にし、「定期市」と「寺社」、「交通」の3つの語句を使って簡単に説明しなさい。

□()

- (4) 運慶らがつくった資料IIの彫刻作品の名と、この彫刻が収められた建物の名をそれぞれ答えなさい。 □彫刻() □建物()

- (5) 随筆「徒然草」の中で、いきいきとした民衆の姿を取り上げた人物を、次から選び、記号で答えなさい。 □()

ア 鴨長明 イ 兼好法師 ウ 西行 エ 藤原定家